

# 湖陵中だより

第3号 出雲市立湖陵中学校 発行

令和2年6月29日 文責 小豆澤 巧

「チャレンジ」 夢をつかめ！ 未来を切り開け！ 仲間とともに！

## ～校長室の窓から～

湖陵中学校校舎の中庭には、ヒマラヤ杉の大木があります。現在の校舎が落成してから、昭和・平成・令和と湖陵中学校の歴史と共に歩んできた大木で湖陵中のシンボルでもあります。ところが、近年、害虫に芽や葉を食べられて枯れている枝もあり、全体的に元気がありません(写真右側)。数年前の写真(左側)と比べると一目瞭然です。専門業者の方に診てもらって、処置はしていますが、害虫だけでなく根が張っている上から中庭一面に敷いてあるレンガブロックに圧迫され、養分や水分を吸い上げる力も弱まっているとのこと。言うまでもなく、樹木にとって根はものすごく大事なものです。根が大きく張って元気だと、幹、枝、葉も元気になります。

ところで、「根」の付くことばはたくさんありますが、皆さんはいくつ思いつきますか。根本、根元、根拠、根性、根気、根ざす、根が深い、根が生える、根に持つ、・・・などです。「おおもと、よりどころ」という意味でとらえると分かりやすいでしょう。心身ともに成長著しい中学生の時期です。皆さんはこれから人としてどんな「根」を張り、どんな成長を成し遂げていくのでしょうか。表題にあるように、いろいろなことに積極的に「チャレンジ」していくことが、大きな根を張ることにつながります。そして、未来を切り開く原動力になるのです。



## ～特色ある学習活動～

本校では、各教科や総合的な学習の時間、学校行事において、地域の人材や施設等と協力して、自然体験や社会体験、健康や福祉、伝統や歴史・文化、生き方について、特色ある学習活動を推進しています。今学期は、新型コロナウイルス感染症防止のため、計画どおりに実施できませんでしたが、2学期は積極的に計画する予定です。ふるさと湖陵のよさを理解し、誇りに思う心、地域に貢献しようとする態度を育む機会として位置づけています。体験学習やふるさと学習を通して、人とのかわりやつながりを大切に、地域や社会でよりよく生きていこうとする態度を身につけてほしいと思います。

### ○1年総合的な学習の時間「稲作学習」

中学校の近くにお住いの林善一さんをお願いし、苗植えの学習支援に来ていただきました。校舎南側の水田に出かけ、各自がバケツに土を入れ、稲の苗を植えました。泥をじかに手で触る貴重な体験をしました。今後、苗の成長をよく観察することとバケツの水管理をしっかりやるのがとても大事なことです。



### ○2年家庭科「布を用いた製作」

中学校の読書ヘルパーとしてお世話になっている高野美穂さんをお願いし、裁縫(手縫い、ミシン縫い)の学習支援に来ていただきました。2年各学級4～5時間の学習支援をお願いしています。家庭科担当教員だけでは、生徒個々の活動に目が行き届かない現状があり、個別学習を進める上でもとても助かりました。生徒とは顔なじみで親近感があり、困っている生徒に気軽に声をかけてくださいました。



## ～地域学校運営理事会を開催しました～

6月17日に湖陵中学校地域学校運営理事会を開催しました。学校の概要、生徒や職員の様子、学校経営方針、市費学校配当予算、新型コロナウイルス感染症拡大による学校の対応について説明し、続いて意見交換をしました。校外での生徒の様子については、登下校時に気持ちのよいあいさつができるという意見があった一方で、自転車の乗り方については注意喚起が必要という意見もありました。また、新型コロナウイルス感染症関連については、学

校の教育活動への影響、部活動への影響、臨時休校による家庭での生活習慣などにも話が及びました。今回は新型コロナウイルス感染症防止の観点から理事の皆さんによる授業参観は見送りましたが、次回は授業中の取組状況をご覧いただく予定です。

### 令和2年度地域学校運営理事会理事の皆様

理事長	川上 清登	様
副理事長	三原 洋子	様
理事	桑原 孝二郎	様
理事	馬庭 達之	様
理事	兒玉 和夫	様
理事	森山 健治	様
理事	石飛 達也	様
理事	岩成 幹夫	様
理事	園山 学	様
理事	奥野 暢	様
理事	小豆澤 巧	(本校)
理事	高橋 宏光	(本校)
事務局	春日 美由紀	(本校)



## ～ネット依存について考える～

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための約1か月にわたる休校措置がありました。家庭での生活リズムはいかがでしたか。ネット依存になりがちだった人も少なくないと思います。ネット依存というのはインターネット上のさまざまなトラブルと関係しています。しかも、依存度が高くなるほどトラブルに巻き込まれやすく、また起こしやすいものです。ネット上には多くの危険があります。トラブルや危険をあげてみると、「犯罪」「いじめ」「出会い系」「成績の低下」「膨大な通信費」「まちがった情報」「心的被害」「視力低下」「うつ症状」などといったものがあります。そして「心的被害」は、誹謗中傷を受けて精神的に傷つく危険です。さらに、そういうものをいたずらでネットの掲示板に貼り付けたり、動画サイトにアップしたりする人がいます。これらの行為は犯罪で、許されない行為です。

そこで、まちがったネット利用にならないためには、まず大事なことが、家庭での予防です。たとえば、「ネットに関する知識をしっかりと身につける」「子どもとネット利用のルールを話し合う」「ネットを使いすぎないか、オンラインゲームにはまっていないか」など、子どものネット利用の実態を把握するといったことを通して、子どもたちがネットと正しくつきあえるよう導いてあげることが大切ではないでしょうか。学校でも、メディアに関する学習を計画しています。また、チャレンジ週間の取組の一つにもなっています。学期末の個別面談の折に、お子様の家庭でのネット利用の実態についてもご意見をお聞かせください。

第1号でお知らせしましたが、本校では、生徒の皆さんの人権を守り一人一人を大切にしたい教育を実践するために次の対応窓口を設置し、生徒からの相談等に対応しています。気軽に相談してください。

### いじめ対応窓口

渡部裕 教諭、間島志織 養護教諭

### ハラスメント対応窓口

春日美由紀 教頭、渡部裕 教諭

## 《7・8月の主な行事予定》

《7月》 1日(水) 学力向上のための学校訪問(授業参観)  
9日(木) メディア学習(3年)、ブックトーク(1年)  
10日(金) 少年の主張校内大会  
13日(月) 習熟度テスト(2, 3年)  
14日(火)～17日(金) 個別面談  
22日(水) 終業式、給食終了  
23日(木)～8/23日(日) 夏季休業  
《8月》 10日(月)～18日(火) 学校閉庁期間  
23日(日) PTA親子奉仕活動  
24日(月) 2学期始業式  
26日(水) 給食開始  
28日(金) 習熟度テスト(3年)

※学校閉庁期間中の平日は、出雲市立小中学校全校において、日直を置かない期間としていますので、ご了承ください。なお、緊急時の連絡先は、1学期末にお知らせします。

